

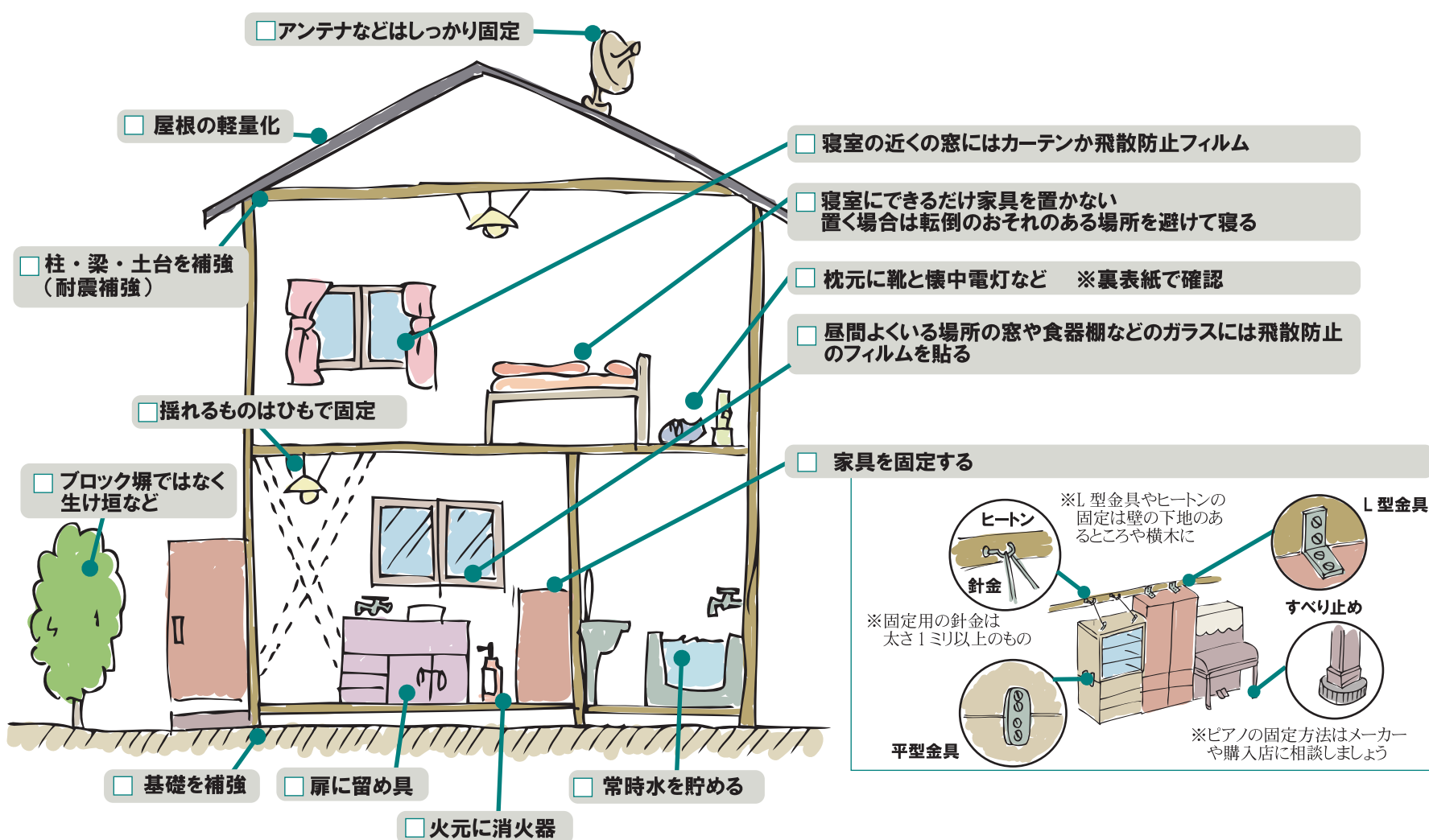
心得6

最善をつくす 地震の揺れから身を守る

平成7年の阪神・淡路大震災では犠牲者の約8割が建物の倒壊や家具の転倒で命を落としています。

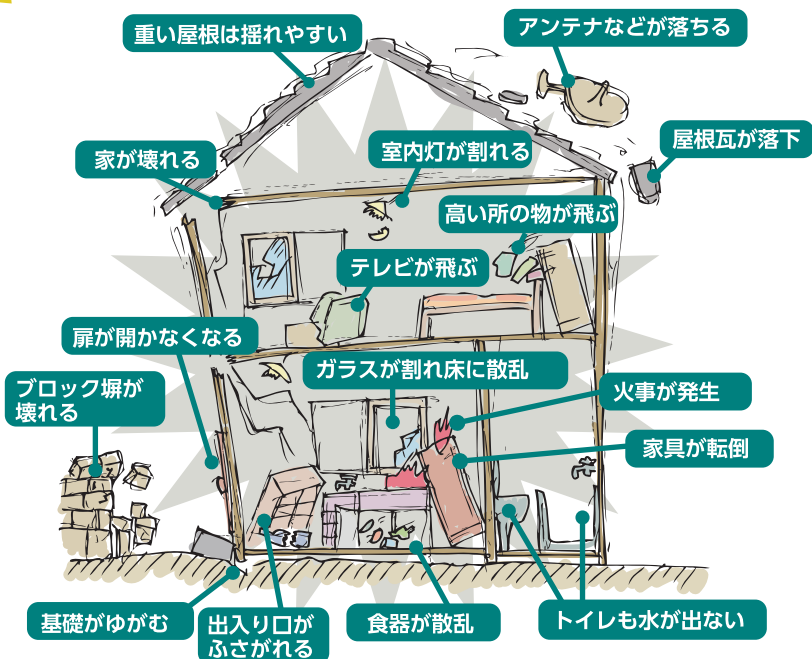
地震の被害は一瞬のため、起こる前の備えが第一です。特に昭和56年以前に立てられた木造住宅の場合は、必要に応じて耐震補強しましょう。

揺れから身を守るための 対策をチェックしましょう



危険

こんな被害が発生します



対応を考える

情報は?

緊急地震速報は唯一の事前情報

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかです。この短い間に落ちてくるものや倒れてくるものを避け、あわてずに身の安全を確保しましょう。

速報が間に合わない場合もありますので、地震の揺れを感じたときは身を守る行動を心がけましょう。

避難は?

自宅で生活できそうなきは避難所に避難する必要はありません

以下のようなときは避難しましょう。

- ◎ 余震により、家が倒壊する危険があるとき
- ◎ 周辺で火災が発生しているとき
- ◎ 余震により、がけ崩れの危険があるとき